

中小企業動向 トピックス

中小企業の景況は、緩やかに回復している

「全国中小企業動向調査（中小企業編）」結果概要

〔2015年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し〕

当公庫ではお取引先のご協力を得て、2015年6月に全国中小企業動向調査（中小企業編）を実施しました（調査対象 13,739社、有効回答企業数 6,912社、回答率 50.3%）。

今期の中小企業の業況判断DIは、前期から上昇しました。小売業のDIが5期ぶりにプラスとなるなど、非製造業で改善が進んでいます。

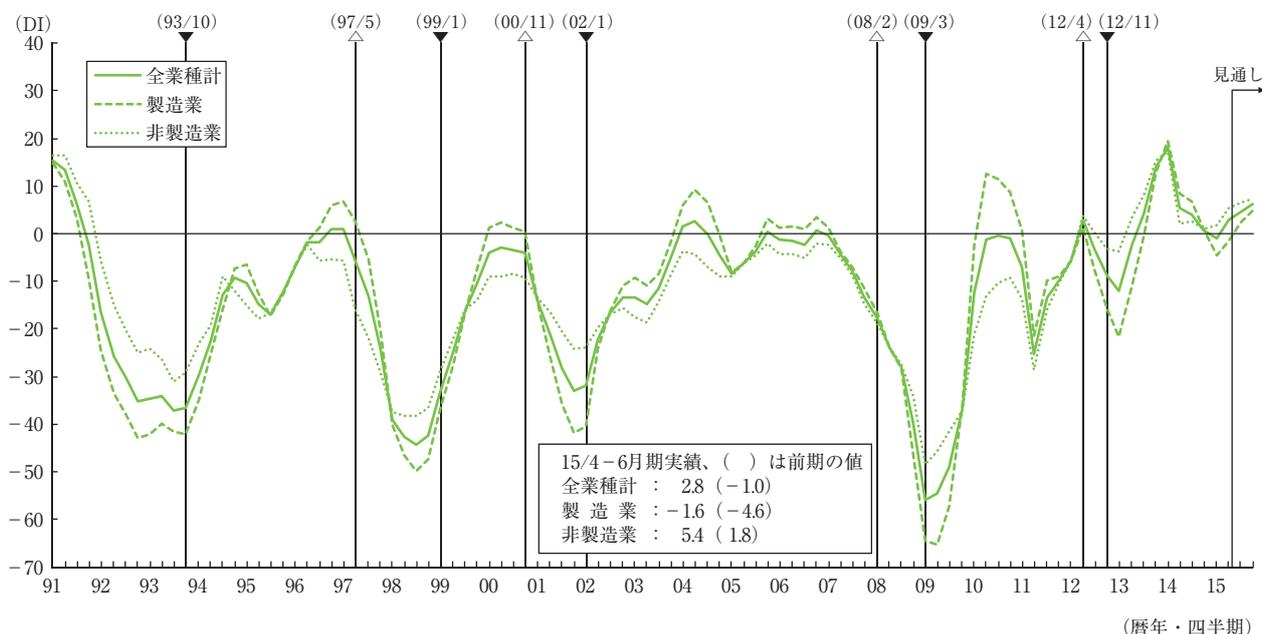
来期以降も、DIは上昇する見通しです。中小企業の景況は、緩やかに回復しています。

業況判断DIは製造業、非製造業ともに上昇

今期（2015年4－6月期）の業況判断DI（全業種計）は、前期（2015年1－3月期）から3.8ポイント上昇し、2.8となりました（図表－1）。製造業は前期から3.0ポイント上昇し－1.6に、非製造業は3.6ポイント上昇し5.4になりました。

先行きについては、来期（2015年7－9月期）は、全業種計で今期から1.7ポイント上昇し4.5に、来々期（2015年10－12月期）は6.1になる見通しです。

図表－1 業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」－「悪化」企業割合、季節調整値）



（注）△は景気の山、▼は景気の谷を示す（以下同じ）。

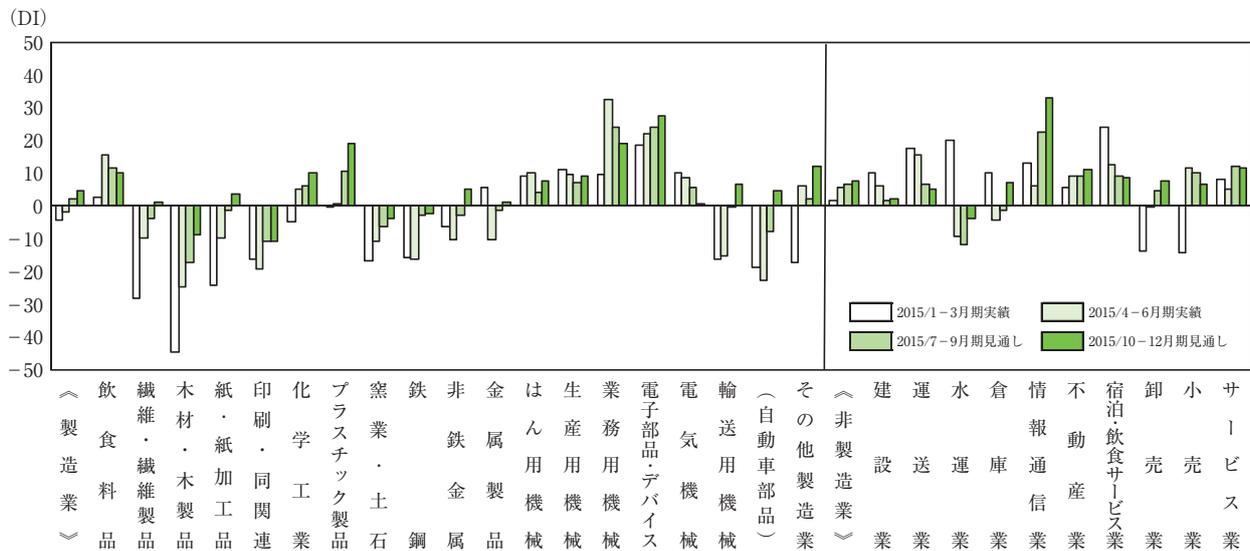
小売業が5期ぶりにプラス

今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業では、はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など、機械関連の業種の多くで引き続きプラス水準となったほか、飲料品でもプラスとなりました（図表-2）。一方、自動車の輸出、国内販売の低迷や、公共工事の減少を背景に、輸送用機械、鉄鋼、金属製品などではマイナス水準となっています。

非製造業では、多くの業種でDIはプラス水準となり、小売業では5期ぶりにプラスとなりました。賃上げの広がりや、訪日外国人旅行者の増加などが寄与したものと考えられます。

先行きをみると、製造業では、今期マイナス水準にある業種を中心に、DIは上昇する見通しとなっています。非製造業では、来期以降も、多くの業種でプラス水準となる見通しです。

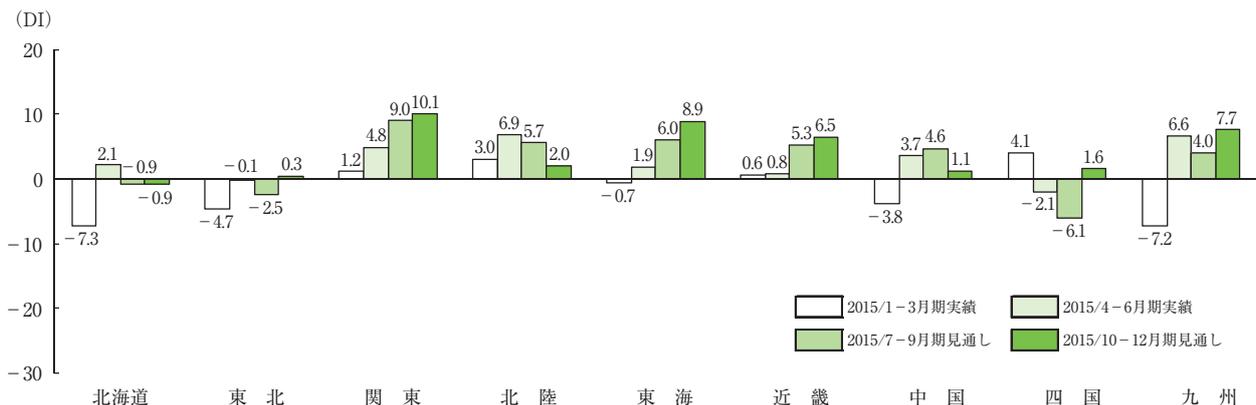
図表-2 業種別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）



7地域でプラス

業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の7地域でプラス水準となっています（図表-3）。来期は6地域で、来々期は8地域でプラス水準となる見通しです。

図表-3 地域別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）

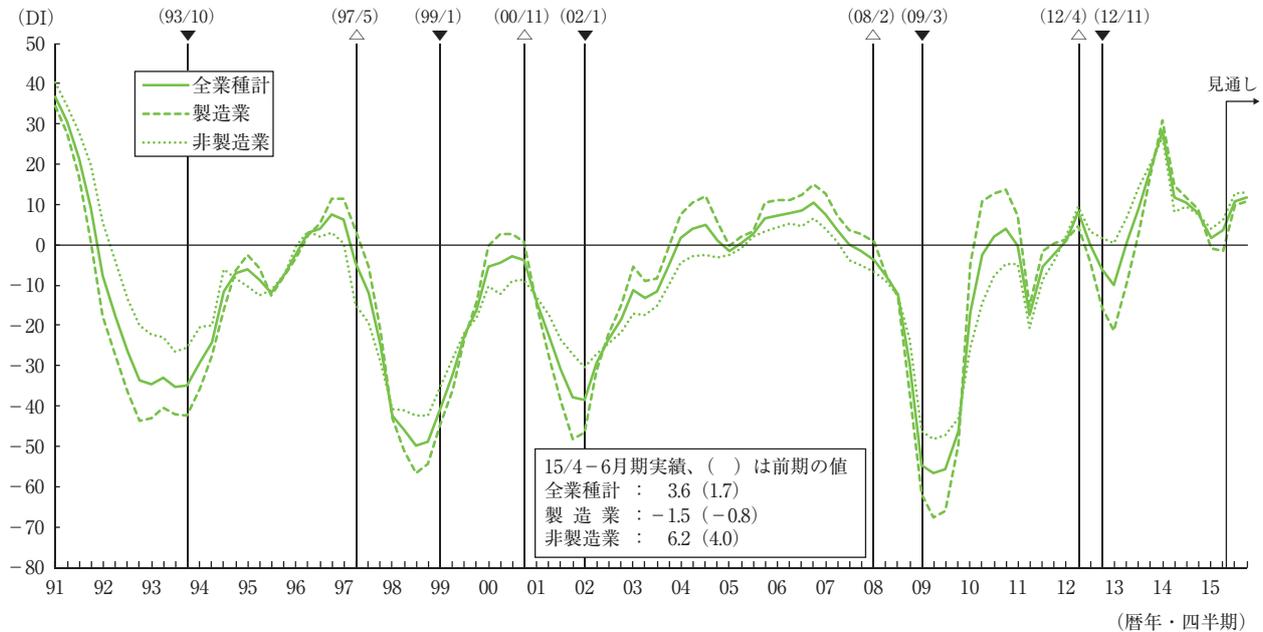


売上DIは9期連続でプラス

今期の売上DI（全業種計）は前期から1.9ポイント上昇し、3.6となりました（図表-4）。9期連続でプラス水準となっています。

先行きについてみると、来期は全業種計で10.8に、来々期は11.8になる見通しです。

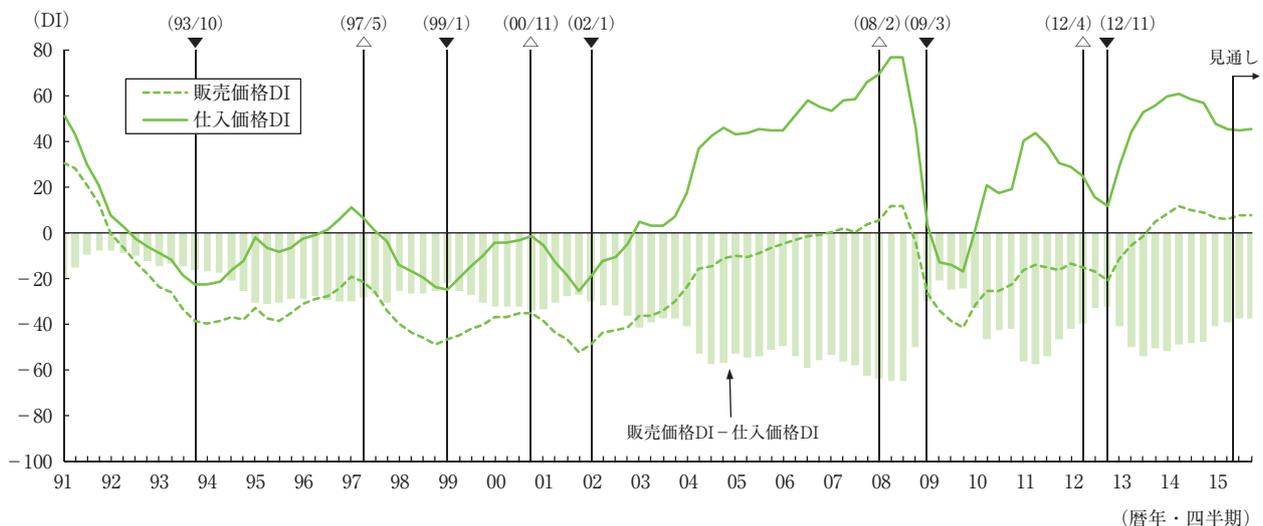
図表-4 売上DIの推移（前年同期比で「増加」-「減少」企業割合、季節調整値）



販売価格DIは7期連続でプラス

今期の価格関連のDI（全業種計）についてみると、販売価格DIは6.1となり、前期から0.4ポイント低下したものの、7期連続でプラス水準となっています（図表-5）。仕入価格DIは2.6ポイント低下し45.1となりました。来期は、販売価格DIは上昇し、仕入価格DIは低下する見通しとなっています。

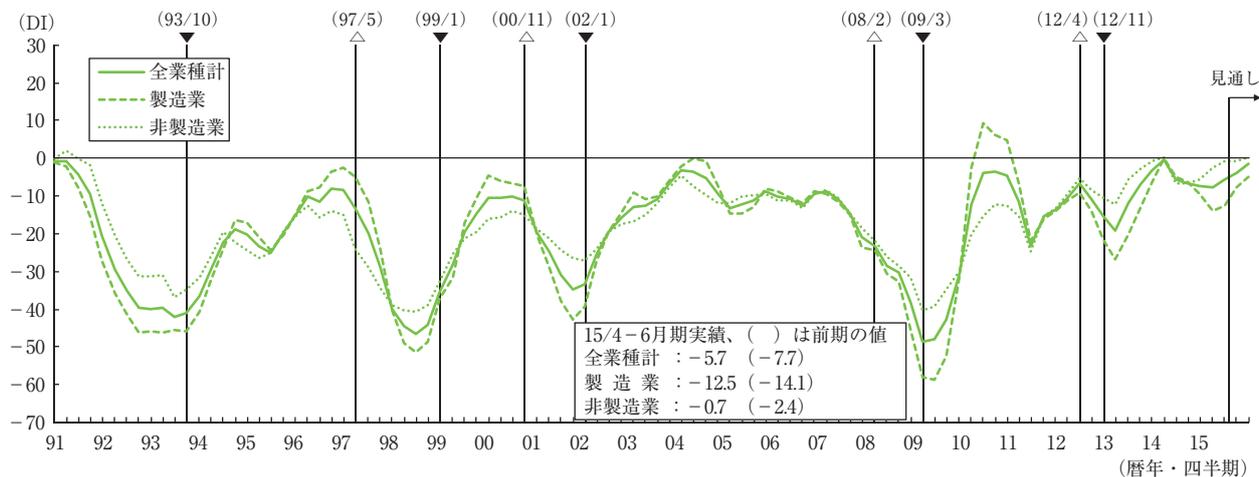
図表-5 販売価格DIと仕入価格DIの推移(いずれも前年同期比で「上昇」-「低下」企業割合、原数値)



純益率 DI は製造業、非製造業ともに上昇

今期の純益率 DI（全業種計）は前期から 2.0 ポイント上昇し、-5.7 となりました（図表-6）。製造業は 1.6 ポイント上昇し -12.5 となり、非製造業は 1.7 ポイント上昇し -0.7 となりました。来期は全業種計で -3.9 に、来々期は -1.6 に上昇する見通しです。

図表-6 純益率 DI の推移（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合、季節調整値）

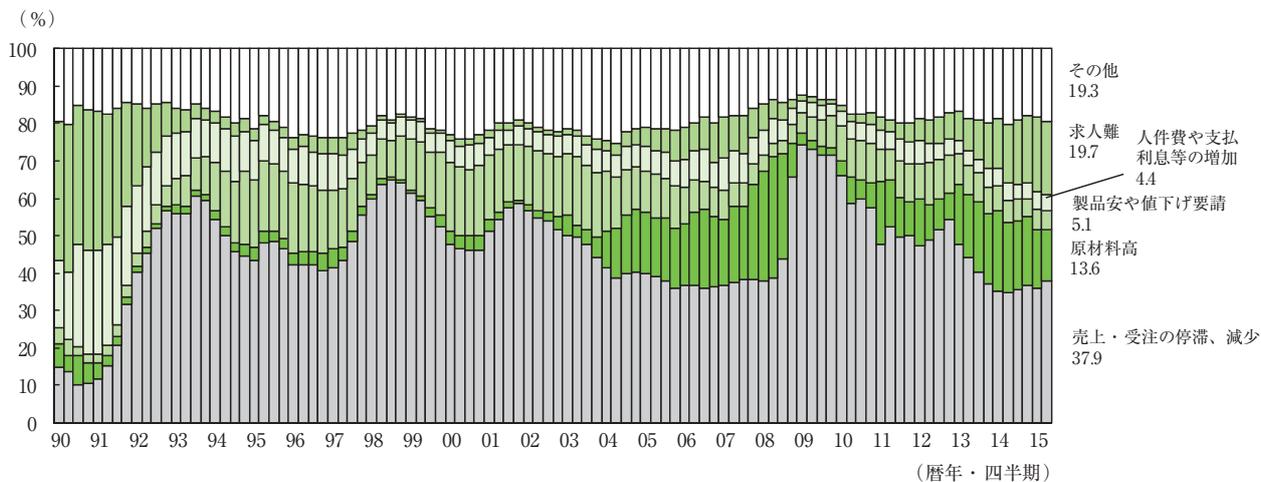


「求人難」が引き続き高水準

当面の経営上の問題点をみると、回答割合が最も高い「売上・受注の停滞、減少」は、前期から 1.8 ポイント上昇し、37.9% となりました（図表-7）。「求人難」（19.7%）は、前期から 0.5 ポイント低下したものの、引き続き高い割合となっています。

中小企業の景況は緩やかに回復しており、消費税率引き上げ後に低迷していた小売業の業況判断 DI も、今期はプラスに転じました。先行きも回復が続く見通しですが、減速が懸念される海外経済の動向などには注意が必要です。（金子 昌弘）

図表-7 当面の経営上の問題点



「中小企業動向トピックス」に関するご意見・ご要望等ございましたら、本支店窓口までお問い合わせください。

発行：日本政策金融公庫 総合研究所 ~ホームページ <http://www.jfc.go.jp/> ~